

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	心身の状況に応じ、地域において、社会文化に、参加の機会を与えられる、サービスの提供を、援助することを、目的とする。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎週、月曜、朝礼時に全員で唱和を行い管理者は運営上の方針、目標を従業員に日常的に話している。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族や地域の人々との情報を交換し、理解して頂けるよう取り組んでいる。定期的に茶話会を開催しています。	○
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	施設内庭園に東屋を設け、いつでも、気軽に近隣所の方々に立ち寄って頂き一緒にお話ができるように努めると共に利用者居室にてもよって頂けるよう努めている。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域における福祉祭りに参加したり保育園の園児による、お遊戯、歌と一緒に歌ったりボランティアの方々による、歌謡ショーダンスを見たりして、交流を深めています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	利用者の友人が個人的に遊びに見える。リハビリ通院後に訪問されるなどの、交流はある。 ○	地域高齢者との、交流を、深めたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎年行われている事で、評価と、その意義を理解している。自己評価外部評価を活かし改善を行っている。	
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	隔月第3木曜日に運営推進会議を開催しケアサービスの実際評価への状況について、報告、話し合いを行っている。	
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ケアマネージャーを通して町の担当者と行き来する機会を得ております。	
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修に参加させて頂き、研修報告書に記録し必要に応じ支援出来るよう心がけている。	
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止に関連した研修に参加すると共に、施設内で行われることに、話し合っている。	毎週のカンファレンスにてスタッフの悩み相談等話し合っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時書面にて、十分説明を行い不安の無いよう努めている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者とのコミュニケーションを図り常に訴えられるよう努めている。入浴時、特に会話を増やしコミュニケーションに努めている。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月1回ホーム便りを発行している。状況変化時は、その都度報告と共に報告書にサインを頂いている。</p>	<p>現在のホーム便りは顔写真などが入っている為、プライバシー保護のためにも、外部へは出していない。本年度より、外部用季刊誌を年2回発行となる。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会に見えた時など、常時対応出来るよう努めている。また、家族会、食事会、茶話会等により意見交換、玄関に投書箱を設け不満、苦情など、意見を反映できるよう機会を設けている。</p>	<p>運営推進委員などでも、意見を反映してくださっている。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>週1回カンファレンスを行い、職員の意見提案を聞く機会を設けている。また、朝礼時でも問題発生時はその都度話し合いを行っている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>要望が合った際には、院長、事務長を含め話し合いを持つ。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者へのダメージを防げるよう1ヶ月または、3ヶ月に1回職員のローテーションを行っている事で、安心されていると思っています。</p>	<p>ホーム便りにて、お知らせすると共に、不安感を与えることの無い様留意している。</p>
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部、外部、研修を受ける機会を確保して随時、チームケアに関して意思疎通を図っています。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム研修会に参加し他事業所との交流を持てる様努めている。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>休憩中には職員間で話す事により、ストレス解消できるようにしている。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>各自向上心を持って働けるよう努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	アセスメントを入念に行い、本人の不安な事、求めている事を聞き入れ把握出来るよう努めている。	責任感が事前に本人に良く話を聴く機会を作る。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	アセスメントを入念に行い、本人の不安な事、求めている事を聞き入れ把握出来るよう努めている。家族との信頼関係をきづけるよう努めている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントを入念に行い本人の不安事、求めている事聞き入れ把握出来るよう努めている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族、医療関係者と共に蜜に連絡を取りながら利用者が安心して生活が送れるよう支援している。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の生活歴を把握し、残存能力を活かし回想法を用いてコミュニケーションを図りながら互いに支えあえる関係を構築出来るようにしている。	昔話を聴いたり調理時には味見をしていただいたり、野菜のへたを取って頂いたり、教えて頂く姿勢を忘れないよう心がけている。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	出来るだけ面会して頂ける様にすると共に、情報報告を随時、行うことにより、支えあえる関係を、築いている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	尊厳を重んじ、よりよい関係が、築ける様、支援している。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話や居室での面会等、いつでも、対応出来るよう、支援している。		居室は利用者の自由に使っている。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	リビングにて過ごす事が多く、常に、気楽に会話が出来るとような環境を保っている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	いつでも、立ち寄って頂けるような、関係であるように努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意向に添えるよう、対応している。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活暦、その他、経過を、情報収集して、それまでの、生活環境の把握に努めている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎朝の、バイタルチェック、入浴時、また状態変化時のバイタルチェック、定期的なFIMによって、状態を把握に努めている。	毎朝、バイタルチェック後、リズム体操を取り入れ、個々の状態に合わせて、動かして頂く。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	週1回のカンファレンスを行ったり、本人、家族と話し合いを持ち、担当者会議に掛け、介護計画を、作成している。	○利用者家族との、情報交換、共有し、利用者本位の、介護計画を、作成出来る様、努めていきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態変化時は、介護計画の、見直しを、関係者との、話し合いを持ち、作成している。	利用者家族への、状況報告を行い、介護計画の、見直しを、必要時は、対応している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎朝の、様子を、個別にケース記録して残し、介護計画の見直しに、活かしている。	ケアプランに添った介護支援を行い、記録し、モニタリングを行い、カンファレンスし、計画を見直ししている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の、要望に応じ、リハビリを施行したり、デイサービスにて、ボランティアによる歌謡ショーなど、参加出来る様支援している。	隣接している、リハビリ施設に、個々の、希望に沿って、リハビリを行ったり、またデイサービスにて、地域による、支援を受けている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域、ボランティアの方により、カラオケや保育園児によるお遊戯のご披露して頂いている。利用者家族によるフラワーアレンジメント講習会や、有償ボランティアによる、髪カットを行っている。	地域福祉祭りに参加、利用者による作品の展示をさせて頂いている。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意思に応じ、他のサービスを利用出来るための支援をしている。	
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	福祉祭りへの参加 ホーム広報誌の配布 運営推進会議のメンバーになってもらっている。	整髪ボランティアの方を紹介頂き、ホームに来て頂いている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>近隣している、医療機関との、連携を、図り、適切な、医療を、受けられるよう、連携を、図り、その他、必要に応じ、かかりつけの、医療機関に、自由に、受診されている。</p>	
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>定期的に、受診を受けている。</p>	
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>施設内と、隣接して、医療機関があり、常に、看護師との、連携が図られている。ホーム内に、看護師が、配置されており、日々の、状態を、把握している。</p>	<p>ホーム内に看護師がいて、健康管理に留意している。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>病院関係者との情報交換や、相談に、努めている。</p>	
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合には、家族と話し合いを持ち、終末期における、介護についての、方針を共有している。状況報告書にて、確認、サイン頂いている。</p>	<p>終末期においては、家族との、連携を図り、共有した、ケアに努めている。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>利用者が日々、より良く暮らせるよう、医師、看護師との連携を図りチームとしての支援に努めている。</p>	<p>終末期において、ご利用者本人と、ご家族の意思の下に、チームケアに努めている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	家族や本人と、十分な話し合いや、情報交換を 行って、いつでも住み替えが、出来るように、し ている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	プライバシーが確保できるよう、支援すること と、個人情報の取り扱いに、注意している。		外部からの電話応対に対しても、マニュアルに 沿った対応を行っている。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよ うに支援をしている	利用者が希望を表現できる様、また自己決定が 出来るような雰囲気づくりを心がけている。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切にし、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	利用者主体の支援に、心がけ、一人ひとりの、 ペースを大切に、支援を心がけている。	○	個々のニーズに添った散歩、外出が出来る機会を 作れるよう、努めたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで けるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	利用者の希望を取り入れ、家族や有償ボランテ アによる支援を行っている。		月1回第3水曜日に来て頂いている。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が食事の準備、片付けなど、手伝ってくださる。介助の必要な方は、職員が、食事の、介助を、しています。		利用者の方々の希望を取り入れ、日により、メニューを変更している。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者におやつの要望を聞き楽しんでいただけるよう支援しています。		時々、利用者の方と、共に、買い物に出かけ昔なじみの、菓子などを、おやつとして、購入することがある。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄のパターンを把握し誘導介助を行っています。		時間誘導している。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回入浴を楽しめるよう支援しています。リフト浴の方は、デイケアにて週2回行っています。		入る順番など、ご希望を聞くと共にシャンプー、石鹸等も、ご利用者のかたの希望を取り入れている。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの状態に応じた、リハビリを、取り入れたりと、穏やかな生活、リズムを、作れるように、支援しています。		昼夜逆転のある方には、声かけなど、行い、昼間リビングにて過ごしていただいている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の下ごしらえや、食器拭き、掃除、洗濯たたみ、干しなど、その日の、状態に応じ、手伝って下さったり、庭園での、唱歌を楽しまれています。		日光浴時などや、お茶時、歌をご披露頂いている。


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々で、お金を保管されていません。買い物など、必要時は、職員または、家族と共に、出かけたりしています。	ホーム内での、個々の方の保管には、トラブル多いため困難と、なりました。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	家族と共に、外出されたり、本人の希望時戸外に出かけられるよう、支援しています。天気の良い日には、東屋の、ベンチに、腰掛けて、談笑しています。	
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	希望により、実施しています。	春秋には、お花見に出かけています。夏祭りや、納涼祭を行ったり外食にもでかけています
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があるときは、支援し、また、家族の、協力にていつでも、電話を出来るように支援しています。	利用者の希望により、居室に電話を設置されている方もいらっしゃいます。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に、訪問できるように、支援し声かけしています。	気軽に訪問しています。
(4)安心と安全を支える支援			
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないよう取り組んでいます。	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	実施しています。玄関には、センサーを設け人の出入りを察知できるようになっています。		常に、ご利用者の方とのコミュニケーションを考えながら支援している。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の所在や様子を常に見守り安全に配慮しています。		夜間帯は巡視ノートにて、確認をおこなっている。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬や刃物など、注意の必要なものは、利用者の状態に、応じ、危険防止のため、保管場所を確保しています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	アクシデント、インシデントの報告書作り、事故防止のために、注意を図り、事故となった場合は、報告し、会議を行い、改善できるよう、取り組んでいます。		インシデント、アクシデントとして報告書に記録し、担当者会議や、ホーム内、カンファレンスにおいて、再発防止に努めている。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変、事故に備え、マニュアルを作り、衣料との連携を取りながら応急手当、初期対応の訓練など研修している。		吸引機を準備している。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は、定期的に、実施しています。		消防隊員にて避難訓練実地訓練をしている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	状況説明書を常に用いて、家族と共に、抑圧感無く暮らして頂けるように、対応しています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝、バイタルチェックを行ない、個々の状態の、変化時には、医療との、連携を、確保しています。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の管理と、処方された、薬の、説明書を、保管し、確認、服薬支援、しています。		服薬準備チェック表を用いて、間違い事故の無い様服薬与薬している。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	飲食物の工夫と個々のADLに添った可動域訓練、リハビリを施行しています。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の口腔ケアの実施、入れ歯の洗浄、消毒を実施しています。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士に献立を立ててもらっています。10時・3時にお茶の時間を取っているが、いつでも飲んで頂ける様にしています。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗い、うがい、の励行やアルコール消毒を実施しています。感染症マニュアルがあり、発生時には、医療との連携を取り、医師、看護師の、指示に、従っています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日、新鮮な食材を購入している。ふきんの消毒を毎日行い、定期的な、食品保管場所の、衛生管理に、努めている。		月2回冷蔵庫内の食材、調味料の点検を行い、調理用具の衛生にも努めている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前には、スロープが設けています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	照明器具も色合いを考慮に入れ、居ごち良く過ごして頂ける様な共同空間づくりに心がけています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	家具は自由に持ち込むことが出来本人が使い慣れたものや、好みとなっています。		定期的にご家族のかたの協力を得て、寝具の、クリーニングを、お願いしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居の際には、家で使い慣れた、家具を、持って来て頂く。仏壇なども、本人、家族の希望で、持って来て頂いている。</p>	<p>○</p> <p>動線の確保と室内の整頓が、出来にくい課題をどうするか。</p>
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>朝・昼・夕、消臭剤で、対応して居る。利用者の、状況に応じ、温度調節を、こまめに行なっている。</p>	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下には、赤い手すりの設置、車椅子でも、対応が出来るトイレ、浴室にも、手すり滑り止めマットなど、設置している。各居室には顔写真を下げ、自分の居室を確認しやすくしている。</p>	<p>常に、動線上に障害物が無い様、また、共同スペースが安全な環境空間であるよう努めている。</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>入居者と蜜に、コミュニケーションを図り定期的に家族と共に茶話会を開き交渉を図りながら、入居者が混乱せず、自立した日々が過ごせる環境作りに心がけている。</p>	<p>○</p> <p>家族会、茶話会など、家族のご協力が得られないご利用者への対応をどの様にするか、工夫したい。</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>庭には東屋があり、周りには家庭菜園や花植え等を楽しめる場を設けている。</p>	

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

週5回、公文学習を行っていることで、ADLが向上されてきている。庭園内に、東屋があり、利用者の、団欒の、場、になっている。家族との定期的に茶話会を開く事も、利用者、スタッフの楽しみになっている。藤沼医院と併設されている事で、スムーズな受診、リハビリが受けられ、利用者は安心した、生活が過ごせている。